

2015 年 4 月 1 日

関係各位

千代田化工建設株式会社
IR・広報・CSR セクション

2016 年 3 月期 期首訓話要約「着実に収益を上げ、
新たな収益源の目途をたてる重要な時」
(実施:4 月 1 日、社長:澁谷 省吾)

2013 年 4 月からスタートした中期経営計画「時代を捉え、時代を拓く」の折り返し地点、コア事業である LNG 分野は追い風を受けて着実に成果を上げてきた。豊富な手持ち工事遂行で着実に収益を上げ、そして新たな収益源の目途をたてる重要な時を迎えている。市場環境が変わる今こそ英知を結集し、荒波の中に力強く漕ぎ出して、未来を切り拓いていこう。

＜中期経営計画後半に向けての課題＞

- 1) 順調に推移した LNG 分野でも追い風が徐々に弱まりつつあり、案件の見極めと LNG No.1 の地位を維持するための更なる技術研鑽が必要。
 - 2) 石油・石化分野では事業の集中と選択、独自技術が生かせる案件の創造、収益性の確保が必要。
 - 3) 次々に手を打って進んでいる新規事業による収益貢献には時間が必要な状況、と認識している。
- LNG 以外の新たな収益源の確保と経営基盤の安定に向け、より一層のスピード感をもって多角化を実現しなくてはならない。

＜中期経営計画目標達成に向けて＞

中期経営計画で掲げた厳しい目標達成に向けて、組織体制を変更する。石油・化学・資源分野を中心とした東南アジアオペレーションを強力に推進し、また、新分野の開拓と収益源の多様化により当社の未来を切り開く体制を整えた。データマネジメントの強化による「経営数字の見える化」も進め、より大きな組織単位での最適化を達成してゆく。

一人一人が新たな価値を求めて時代を拓いていく気概をもって、前へ前へと押し出していこう。

この件に関するお問い合わせ先 : IR・広報・CSR セクション 赤松 勝

電話: 045-225-7734 FAX: 045-225-4962

URL: <https://www.chiyoda-corp.com/contact/index.php>